

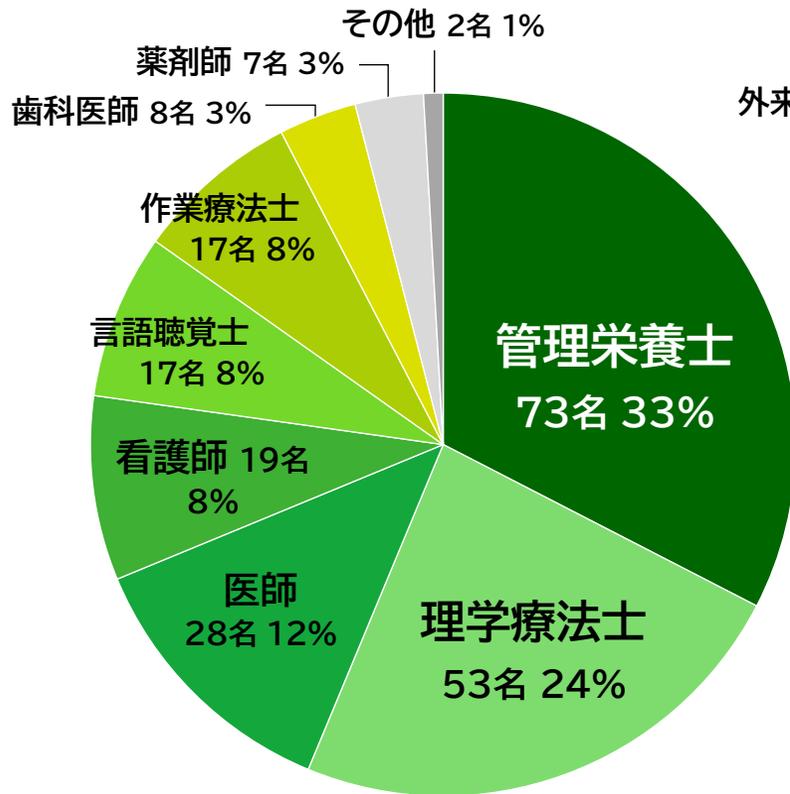
# 日本リハビリテーション栄養学会 第10回サーベイランス

【調査概要】

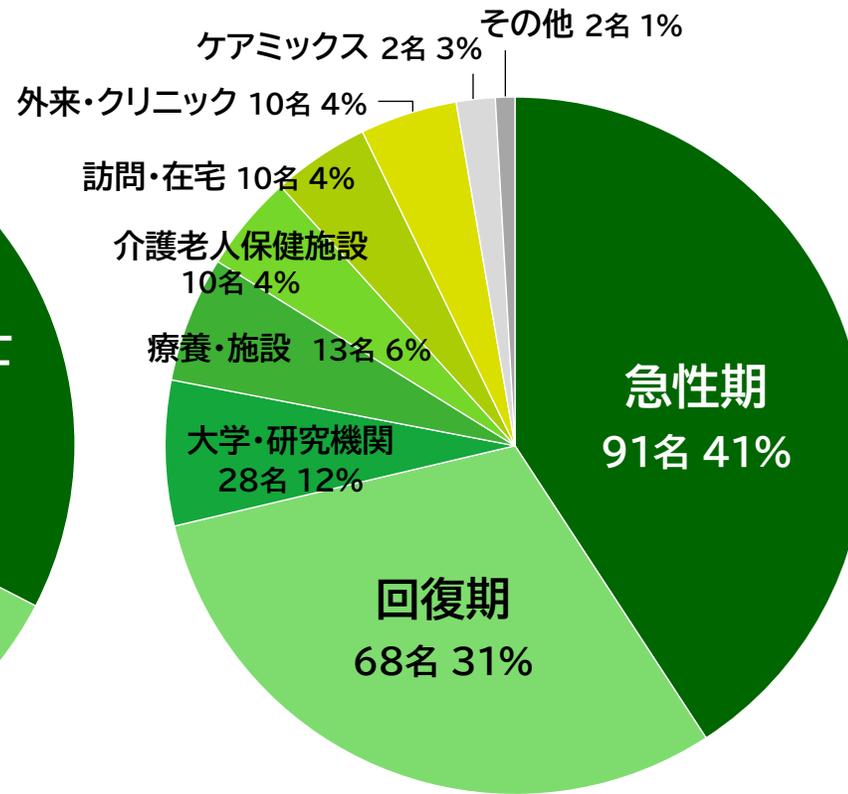
総会員数:827名

有効回答数:224件 (回答率27%)

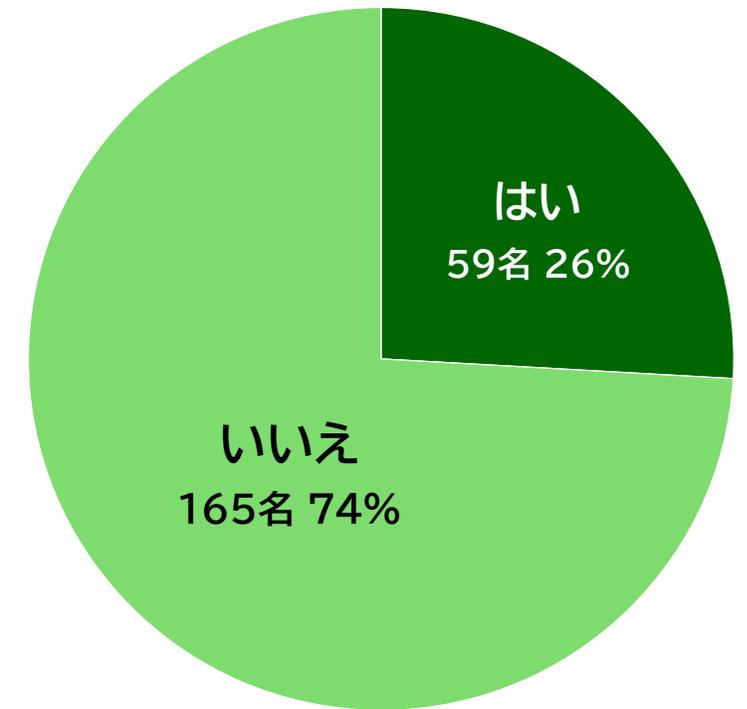
リハ栄養指導士回答数:59件/103名(回答率57%)



職種



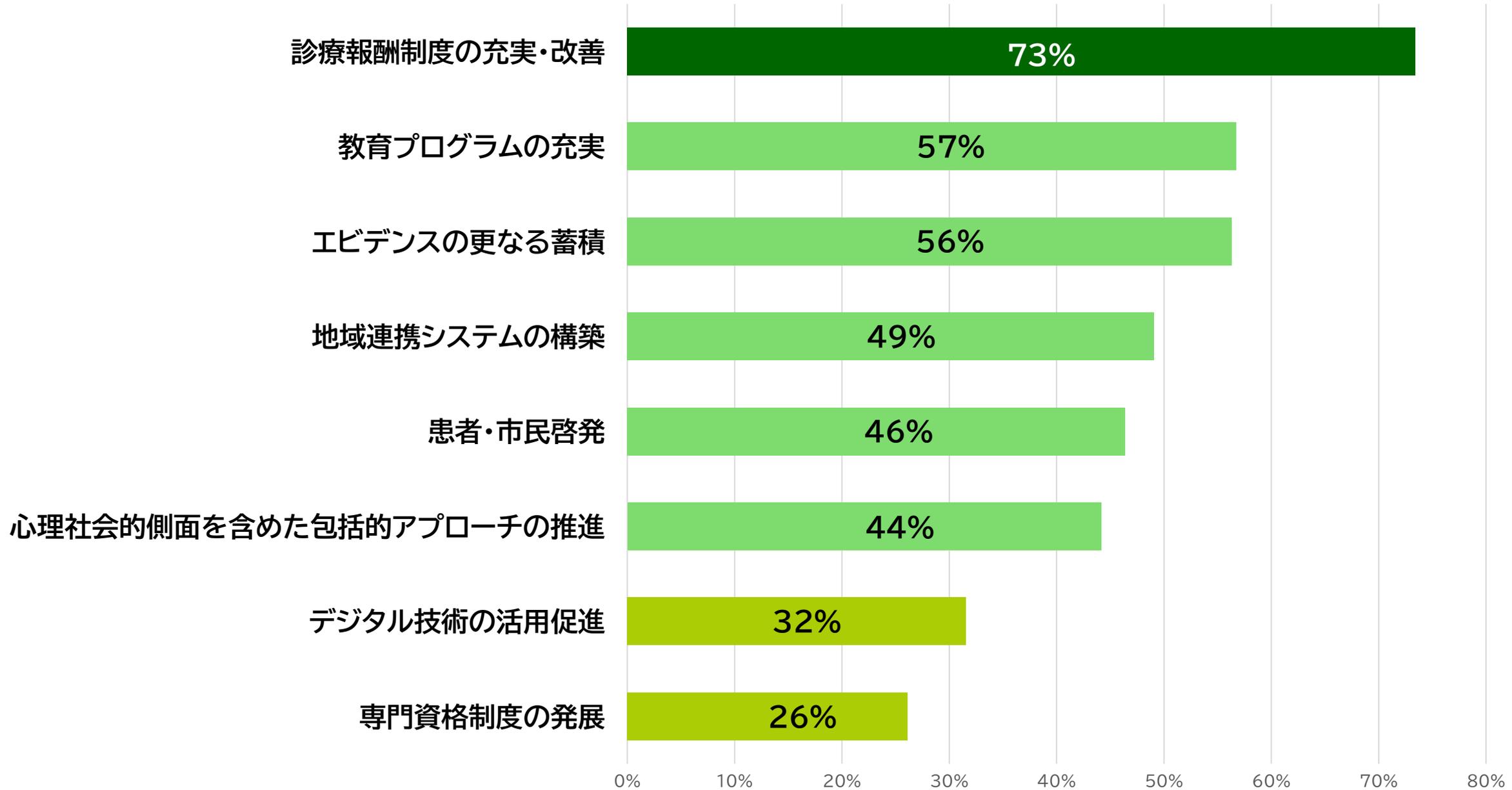
主な職域



リハ栄養指導士

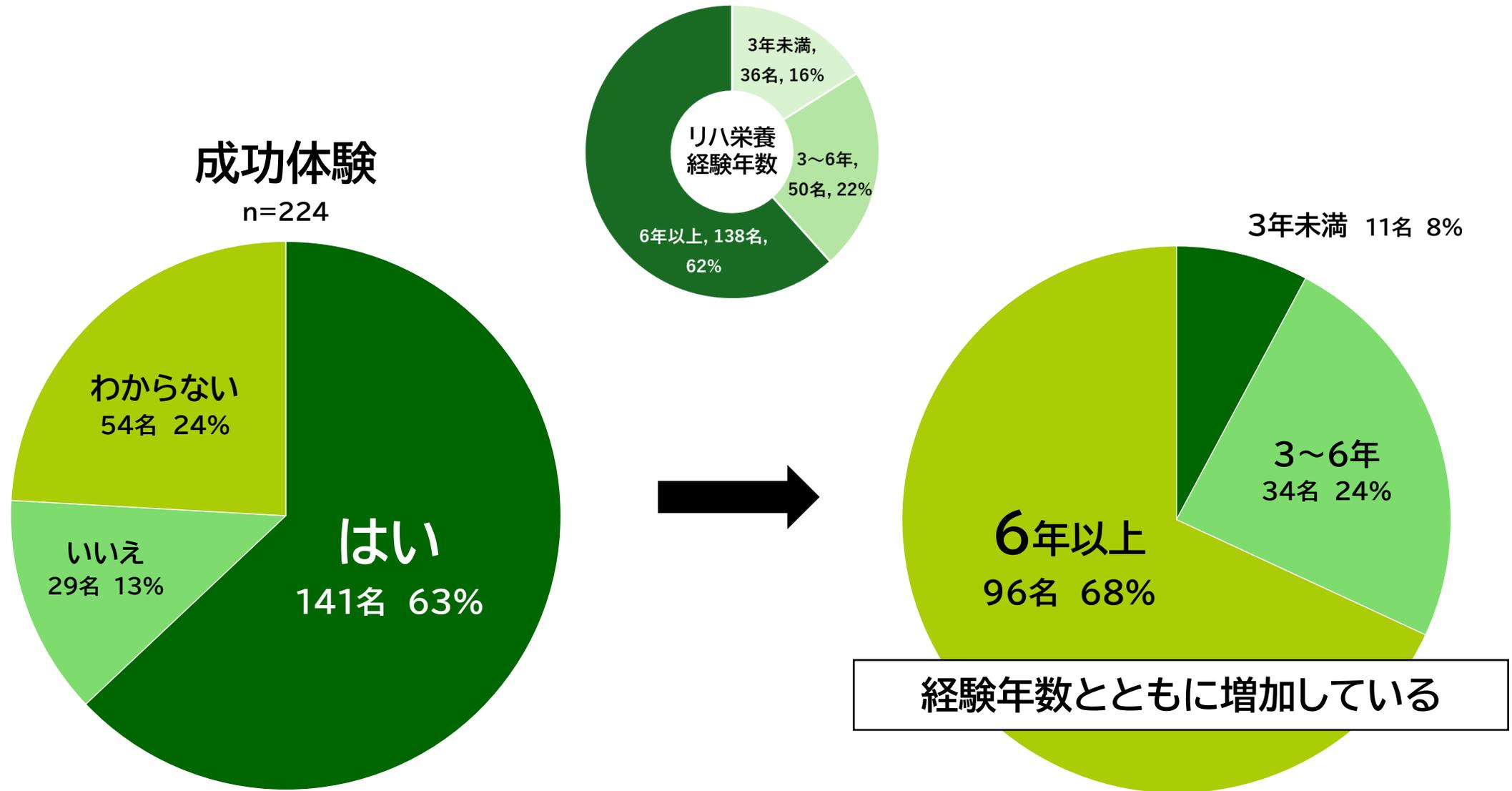
ご参加いただき、まことにありがとうございました。今回も多職種の皆さまにご回答いただきました

# リハ栄養の発展に今後必要だと思う取り組みは？

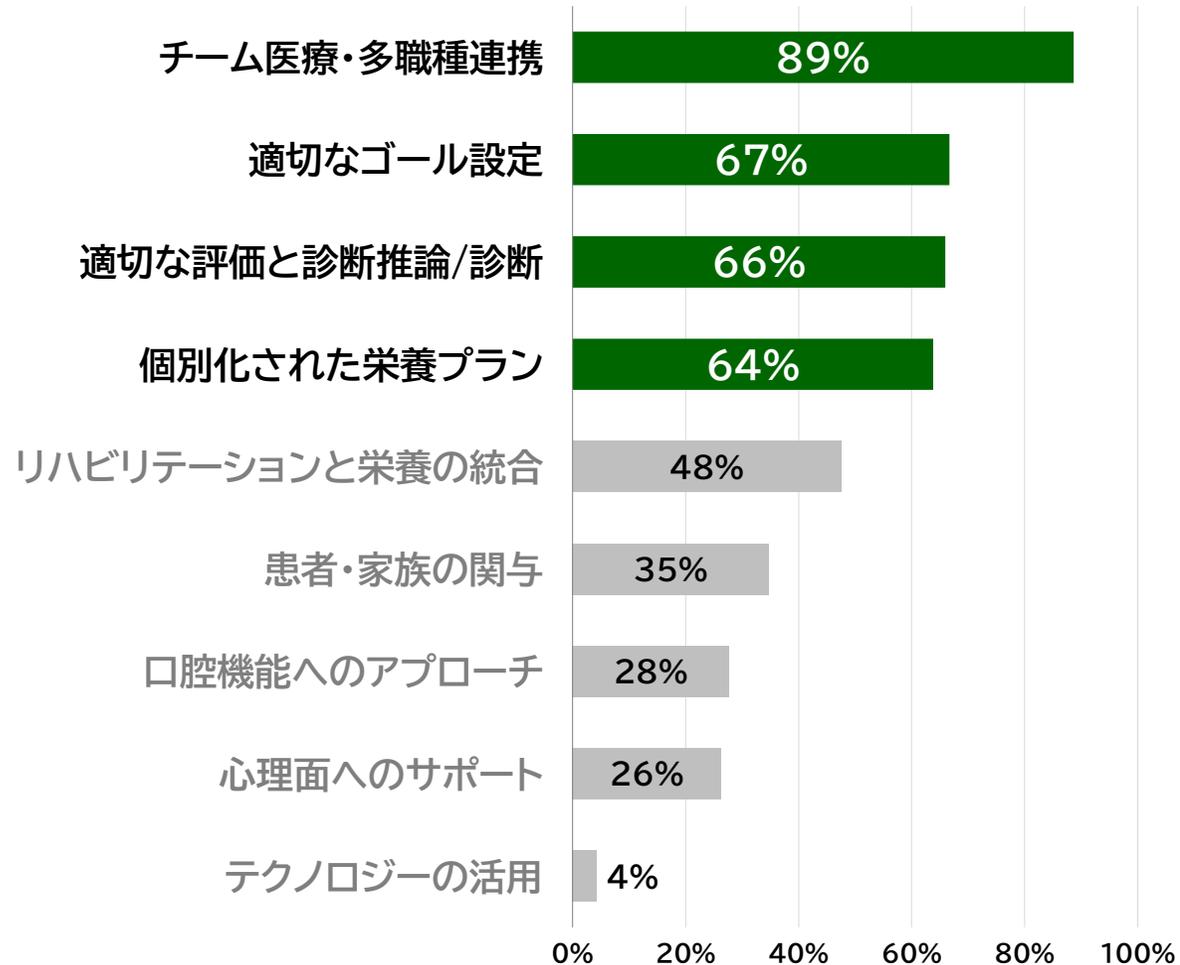


# リハ栄養の取組で成功した体験は？

## リハ栄養経験年数別集計結果



# 成功体験の要因は？



経験年数に関わらない**基本的枠組み**

多職種連携

適切な評価

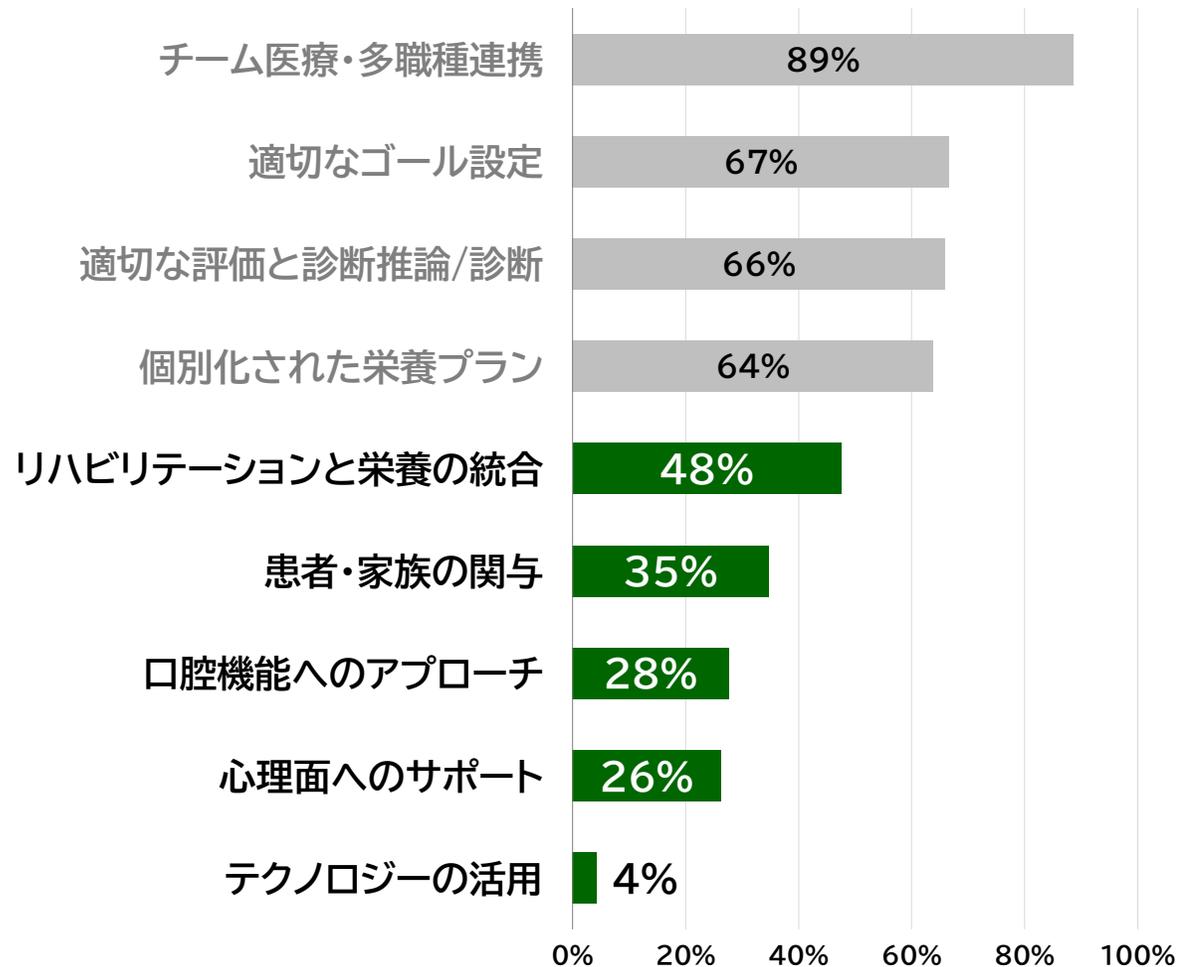
個別化プラン

の重要性は共有されている



リハ栄養学会の成果

# 成功体験の要因で見落としがちなこととは？



## 成功要因として「見えにくい」項目

患者・家族の関与

口腔機能へのアプローチ

心理面へのサポート

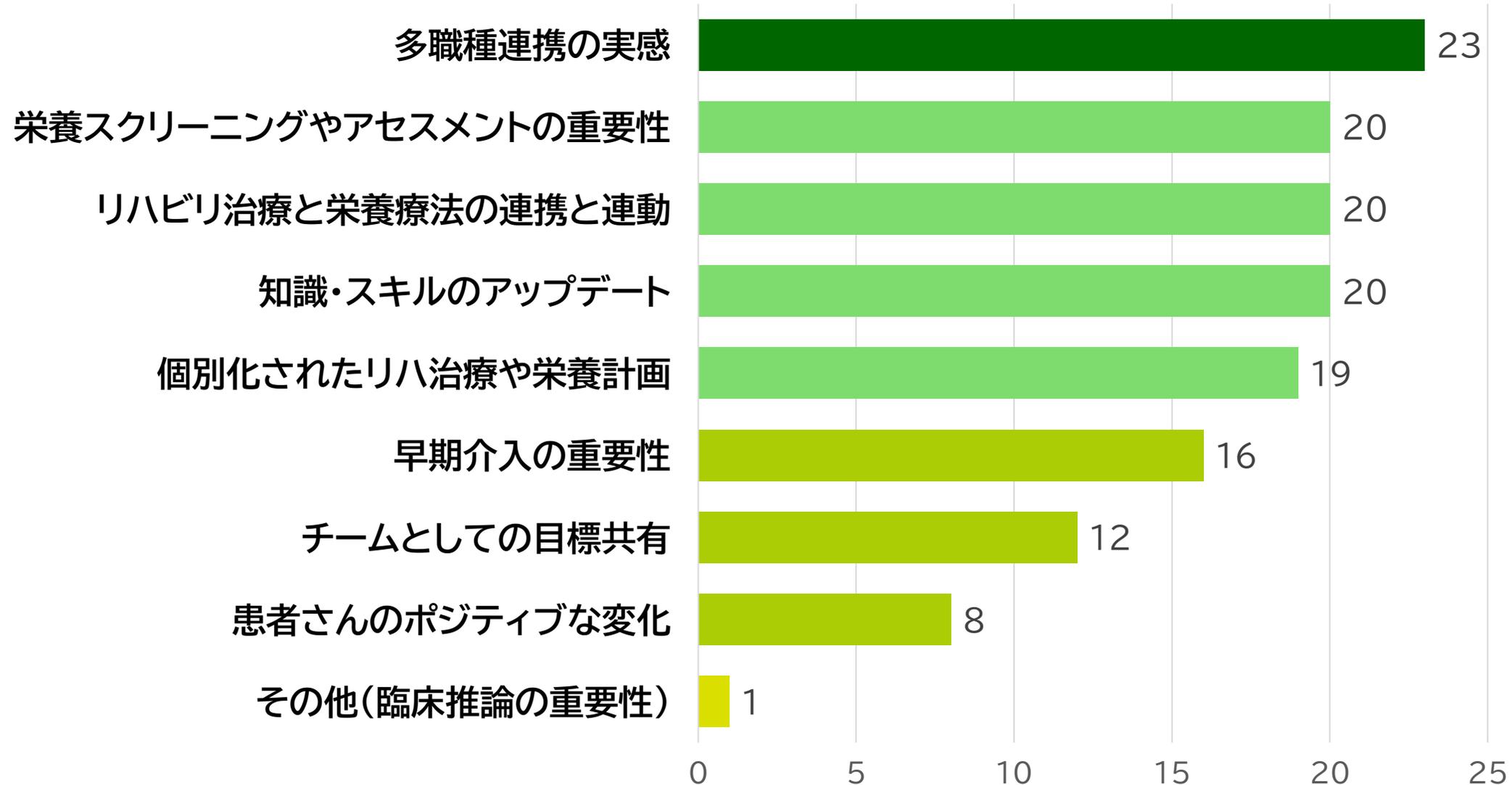
テクノロジーの活用



次なる成功要因として「重要」

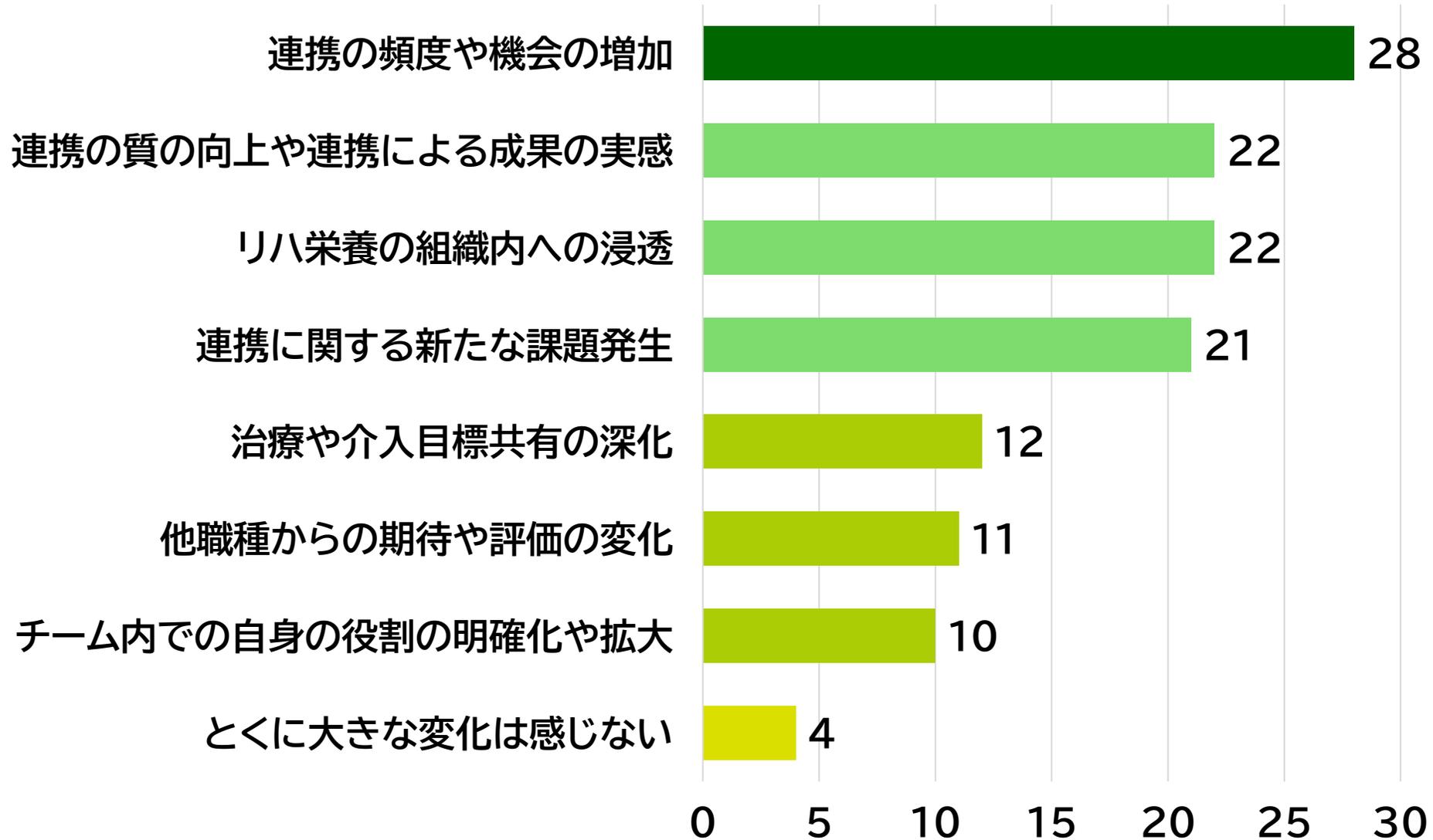
# リハ栄養実践の中で大切に感じたこと・印象に残ったこと

リハ栄養経験年数3年未満  
(n=36, 複数回答)



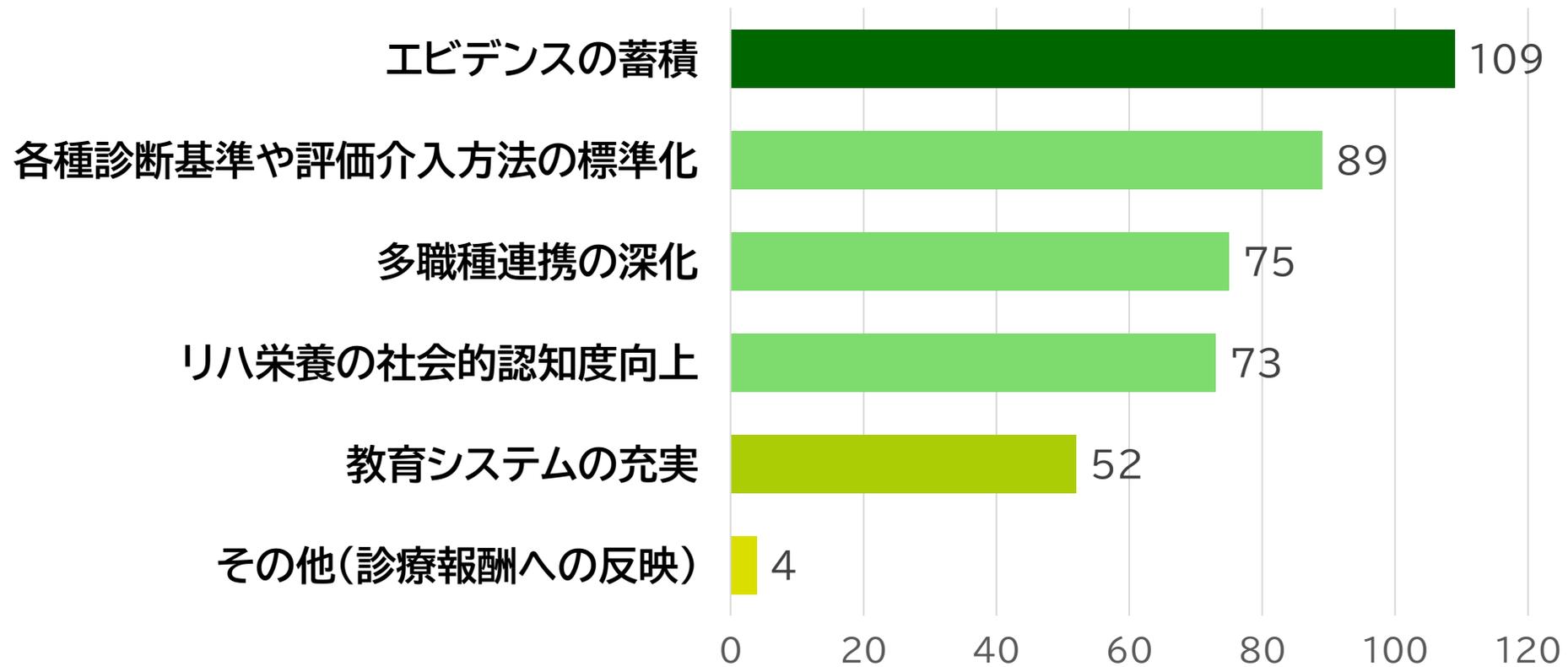
# リハ栄養実践の中で他職種との連携やチーム医療で変化を感じたこと

リハ栄養経験年数3年以上6年未満  
(n=50, 複数回答)



# この10年でリハ栄養の教育やエビデンス面で大きく変化したと感じること

リハ栄養経験年数6年以上  
(n=138, 複数回答)



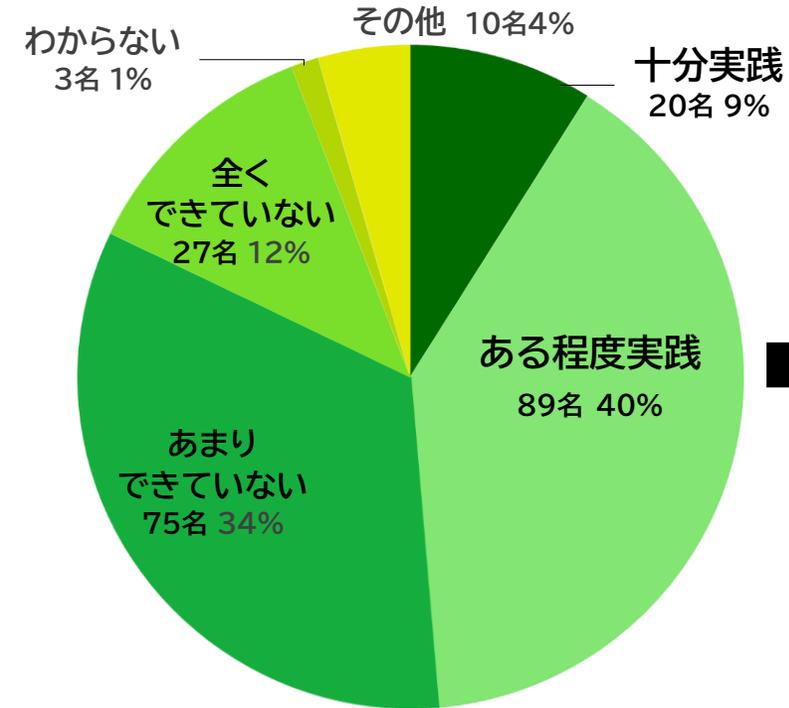
# リハ栄養指導士は貢献できている？

		リハ栄養指導士		p値	
		はい n=59	いいえ n=165		
リハ栄養の取組で成功した体験は？		はい	<b>59(76%)</b>	165(58%)	0.03
GLIM基準を用いた低栄養診断は？		はい	<b>53(90%)</b>	123(75%)	0.05
低栄養診断する職種	管理栄養士	はい	<b>49(83%)</b>	103(62%)	0.00
	看護師	はい	14(24%)	29(18%)	0.34
	理学療法士	はい	<b>13(22%)</b>	14(8%)	0.01
	医師	はい	10(17%)	14(8%)	0.09
リハ.栄養.口腔の統合的三位一体アプローチを実践しているか？		はい	36(61%)	73(44%)	0.11
三位一体アプローチに関する加算請求をしているか？		はい	12(20%)	25(15%)	0.09
リハ栄養介入で心理面を評価しているか？		はい	<b>20(34%)</b>	49(30%)	0.04

# リハ・栄養・口腔の統合的(三位一体)アプローチ

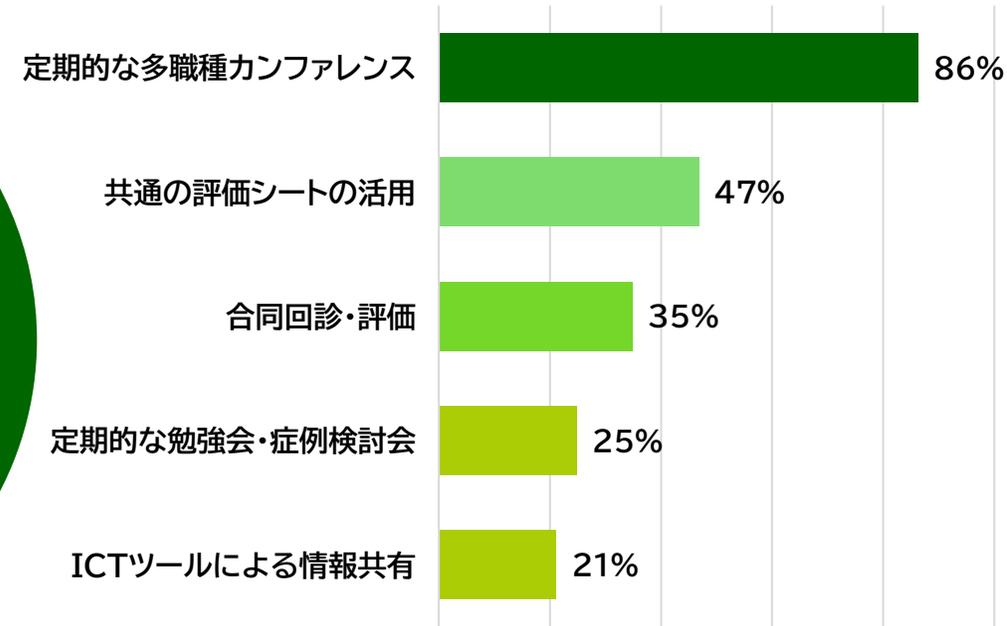
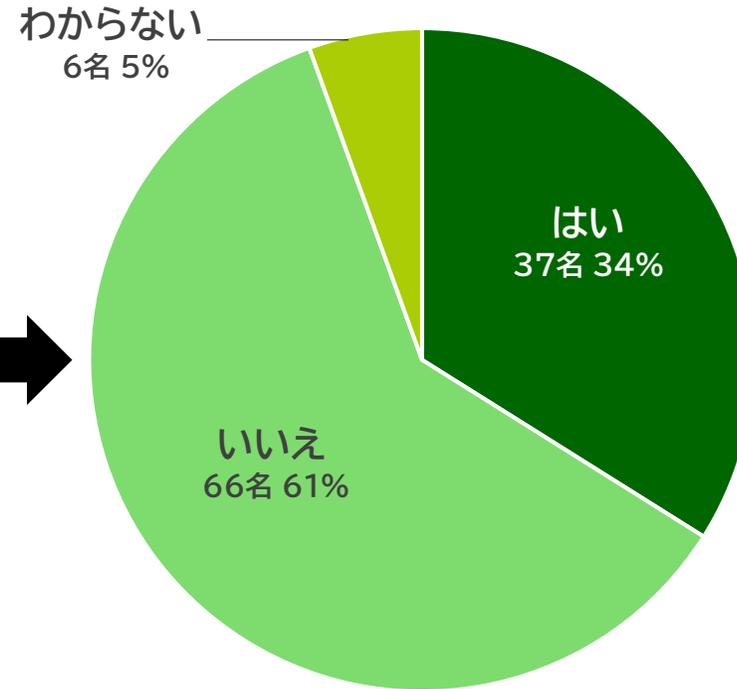
## 実践していますか？

n=224



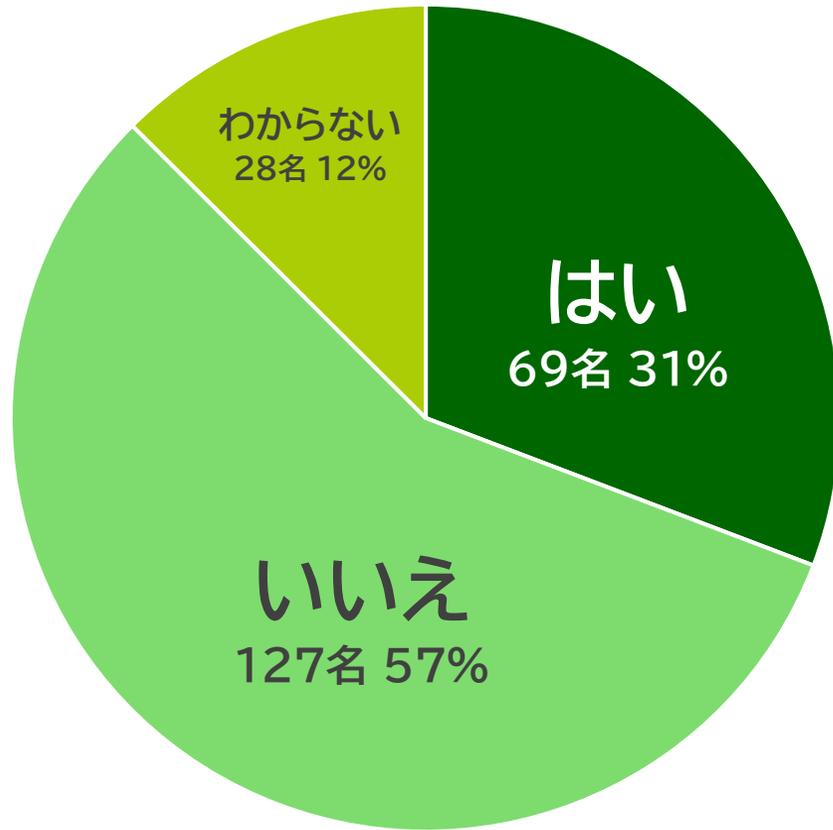
## 算定していますか？

n=109

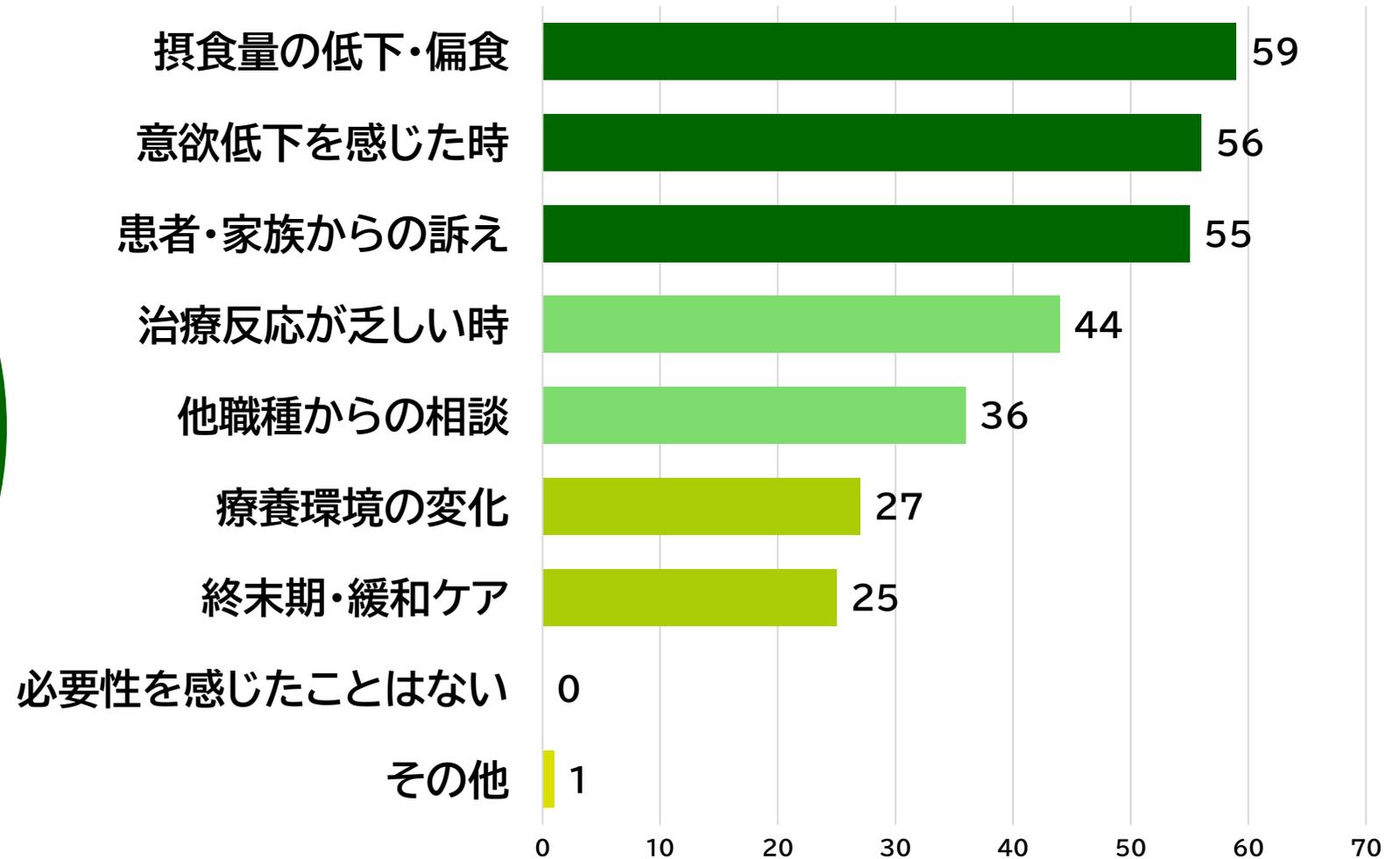


## 実践に最も効果的な連携方法は？

# 心理面のリハビリテーション栄養

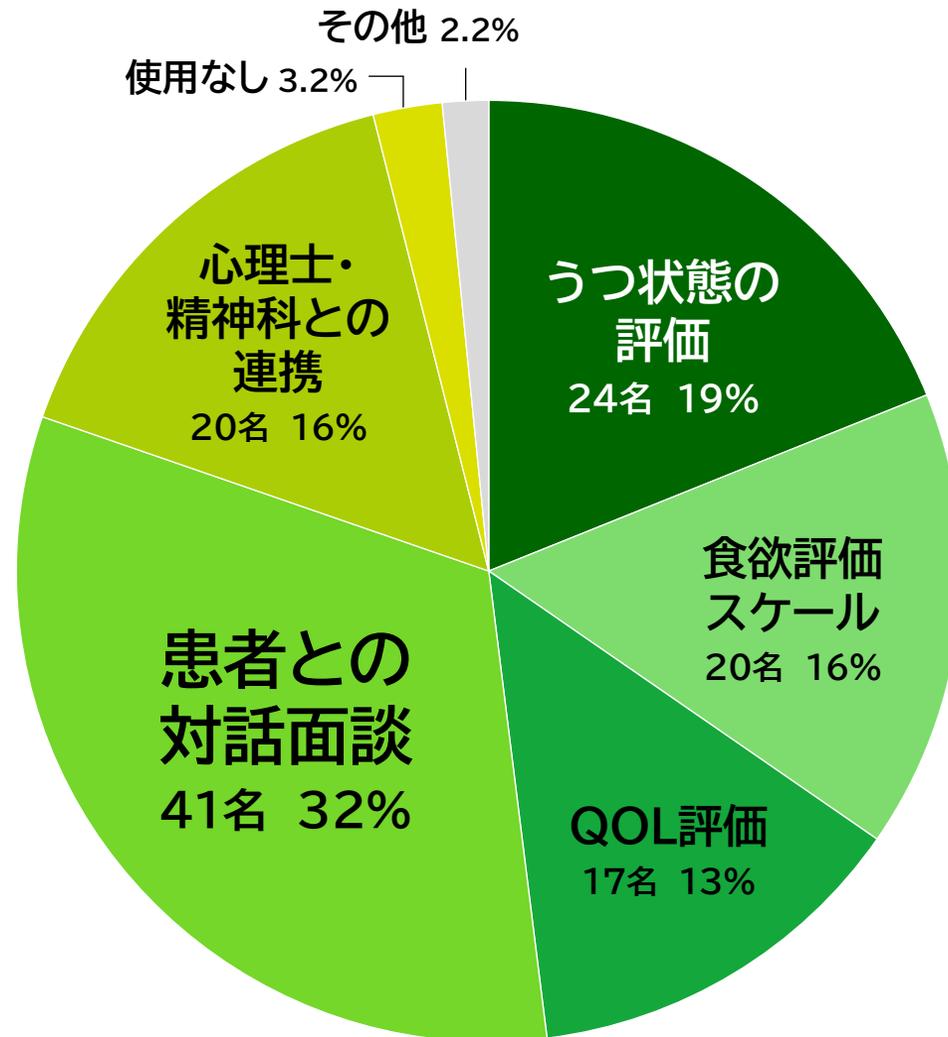


患者の心理面を  
評価していますか？



心理面の評価は  
どの場面で必要？

# 心理面の評価方法は？



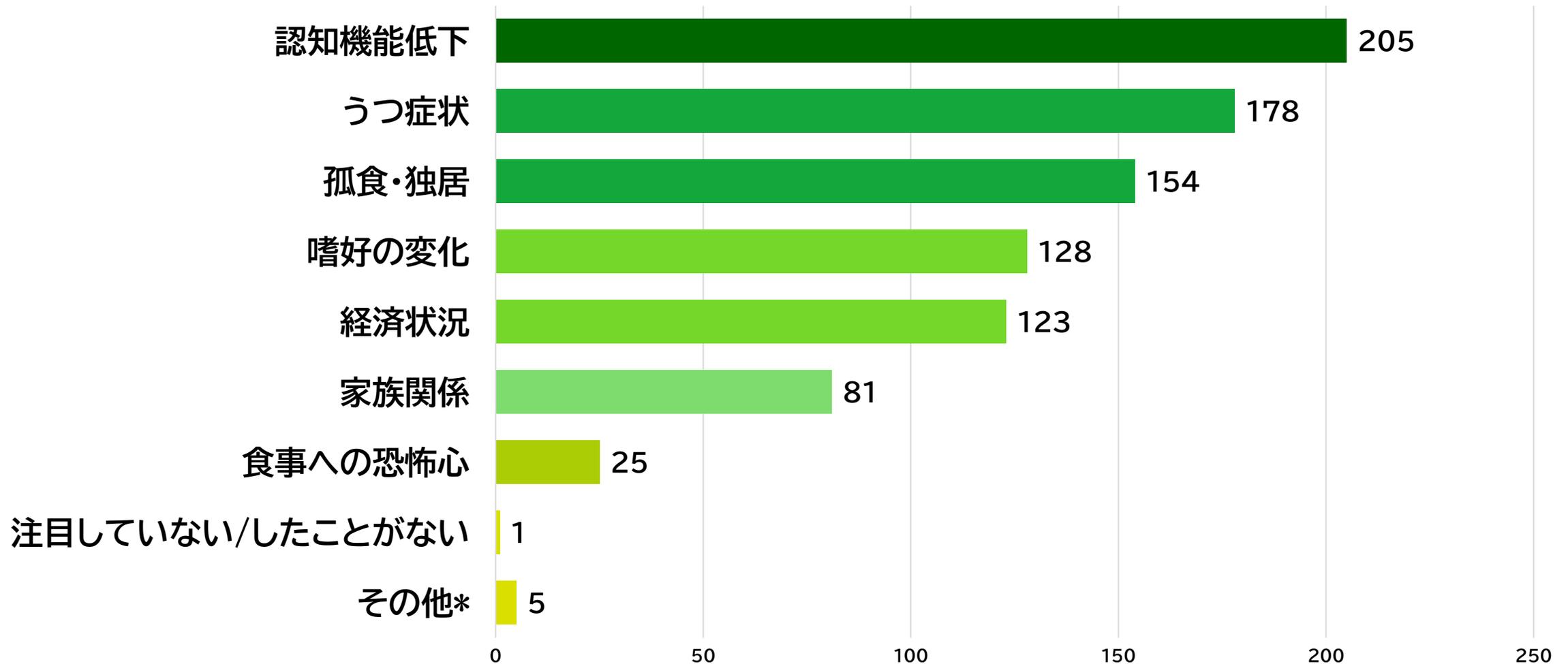
多様な評価方法が使用されている

リハ栄養実践における  
心理面評価のプロトコルが必要

+

多様なニーズへの柔軟な対応も必要

# 心理社会的要因への注目度



\*その他の要因:活動量, 環境変化, 食形態, 生活様式変化, 禁食/絶食指示

食欲不振や栄養状態の悪化に関連する  
心理社会面要因として何に注目するか？

# 第10回サーベイランス結果について(お詫び)

第10回リハビリテーション栄養サーベイランスにご協力いただきました224名の学会員の皆さまに改めて心より御礼申し上げます。

この度、調査結果の公表にあたり、質問項目⑨「筋肉量の減少の判定の評価は何を使用していますか」の結果につきまして、重要な修正事項をお知らせいたします。

## 【問題点】

本設問において、筋肉量評価のゴールドスタンダードとされるDEXA法(Dual energy X-ray Absorptiometry)を選択肢に含めず、筋肉量評価方法としては一般的でない「握力」を選択肢として設定してしまいました。この設問設計上の不備により、臨床現場での筋肉量評価の実態を正確に把握することができませんでした。

## 【対応】

このため、質問項目⑨の結果は今回公表を見送らせていただきます。ご回答いただいた皆さまには大変ご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。今後このような不備がないよう、設問設計にはより一層注意を払ってまいります。引き続き、リハビリテーション栄養の発展にご協力のほど、よろしくお願いいたします。

日本リハビリテーション栄養学会サーベイランス部会